

石川県加賀地方各地で危急種ミズアオイの生育を確認

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-10-03 キーワード: 作成者: 栗原, 智昭, 白井, 伸和, 渡辺, 寛, Kurihara, Tomoaki, Shirai, Nobukazu, Watanabe, Hiroshi メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00055631

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



の結成10周年を記念して、それまでの研究成果が、本書の内容となった。

(里見信生)

○栗原智昭*・白井伸和*・渡辺寛**：石川県加賀地方各地で危急種ミズアオイの生育を確認 Tomoaki Kurihara*, Nobukazu Shirai* and Hiroshi Watanabe**: Locality of a Vulnerable Species, *Monochoria korsakowii* (Pontederiaceae), in Ishikawa Prefecture, Japan

青紫色の美しい花をつける水草ミズアオイ *Monochoria korsakowii* Regel et Maack はかつては各地の水田、水路、溜め池などに普通に見られた植物だったようだが、土地開発や除草剤の普及などにより激減し現在ではいわゆる「レッドデータブック(1989)」で危急種の指定を受けるに至っている。

そのミズアオイらしき植物を松任市の海岸近くの側溝内に発見したのは1994年6月のことだった。発育が不十分で確信が持てなかったが、花序の成熟を待ち、9月にミズアオイであることを確認することができた。この生育地は約20mにわたって深さ10cm程の水がたまっており、底には砂が見られる。ミズアオイ約30株と近縁種であるコナギの他、オモダカ、ヘラオモダカ等の水生植物が観察された。ここの水は湧き水がたまったものらしく、この夏の記録的な猛暑と少雨にもかかわらず絶えることがなかった。この「発見」に端を発し、各方面にミズアオイに関する情報の提供を呼びかけたところ、石川県内から10件を超える情報が集まった。現地調査の結果、一部コナギなどの誤認も見られたが、金沢市、根上町、小松市など加賀地方各地でミズアオイの生育を確認することができた。特に金沢市湊と航空自衛隊小松基地付近では用水路に大きな群落が見つかった。生育地の多くは底部に土砂が堆積した灌漑用水路や道路脇の側溝で、生活排水が流れ込み悪臭を放つような場所も含まれている。

「東北地方をのぞいてきわめてまれな水草」(角野, 1994)とまで言われたミズアオイが石川県内各地にまだ生き残っていたという事実は、地元で植物に関わる者として喜ぶべきことだろう。今回観察した生育地の状況や、果実から散布される大量の種子を見る限りでは、ミズアオイは決して繁殖力の弱い植物ではない。にもかかわらず日本各地で激滅しているという現状が何を意味するのか、植物学上の興味を超えてある種の危機感を感じずにはいられない。今後もミズアオイに関する情報収集を継続していく予定である。地域を問わず、ミズアオイの生育地の状況を渡辺寛(「ミズアオイの会」事務局)宛にお知らせいただければ幸いである。

またこれまでの情報収集、現地調査にあたり、角野康郎先生(神戸大学理学部)、「河北潟を考える会」の皆さん、朝日新聞および北陸朝日放送の記者の方々、航空自衛隊小松基地の方々のご協力があったことを付記し、深謝したい。

採集したミズアオイの標本は次の通りで、金沢大学理学部植物標本室(KANA)に納めた。

KANA190706 (Kurihara, Oct./13/94, 小松市航空自衛隊小松基地横 beside Komatsu Air Base of Self-Defence-Force, Komatsu); KANA190705 (Kurihara & Watanabe, Oct./14/94, 航空自衛隊小松基地内 in Komatsu Air Base of SDF, Komatsu); KANA190707 (Kurihara, Oct./13/94, 小松市城南町 Jyonan-machi, Komatsu); KANA190708 (Kurihara, Oct./13/94, 根上町大成町 Taisei-machi, Neagari); KANA191699, 191700 (Kurihara, Sept./01/94, 松任市徳光町 Tokumitsu-machi, Matsutou); KANA 191703 (Watanabe, Sept./16/94, 金沢市北間町 Kitama-machi, Kanazawa); KANA191701, 191702/(Kurihara & Watanabe, Sept./27/94, 金沢市湊 Minato, Kanazawa); KANA 191704 (Kurihara, Oct./17/94, 金沢市南神保町 Minami-jinbo-machi, Kanazawa)

引用文献

角野康郎, 1994. 水辺環境の危機と水草の絶滅. 科学 64: 691-693.

我が国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会, 1989. 我が国における保護上重要な植物種の現状. 320 pp. 日本自然保護協会・世界自然保護基金日本委員会, 東京.

(*〒 920-11 金沢市角間町金沢大学理学部植物自然史講座 Laboratory of Plant Natural History, Faculty of Science, Kanazawa University, Kanazawa 920-11, Japan; **〒 920-02 金沢市北間町は7 Ha-7, Kitama-machi, Kanazawa 920-02, Japan)